

データサイエンスに強い 日本工業大学

社会課題を解決するためにデータサイエンスを専門的に学ぶ

新設 2022年4月
データサイエンス学科

データサイエンスをそれぞれの専門分野で活かす

スタート 全学部学科対象
『データサイエンス・プログラム』

NIT Open Campus

日本工大には、ここでしか得ることができない
さまざまな魅力があります。
オープンキャンパスでは是非その魅力を体感してください

8.21(土)・22(日) 9.11(土)

※詳細は本学Webサイトをご覧ください

基幹工学部

・機械工学科
・電気電子通信工学科
・応用化学科

先進工学部

・ロボティクス学科
・情報メディア工学科
・データサイエンス学科 **NEW**

建築学部

・建築学科
・建築コース
・生活環境デザインコース

日本工業大学

埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 <http://www.nit.ac.jp>

大宮から
29分

新白岡駅まで
JR 上野東京ライン・湘南新宿ライン・宇都宮線で
17分 + スクールバス 12分

北千住から
44分

東武動物公園駅まで
東武スカイツリーライン（急行）で
39分 + スクールバス 5分

※列車の運行状況により異なる場合があります。

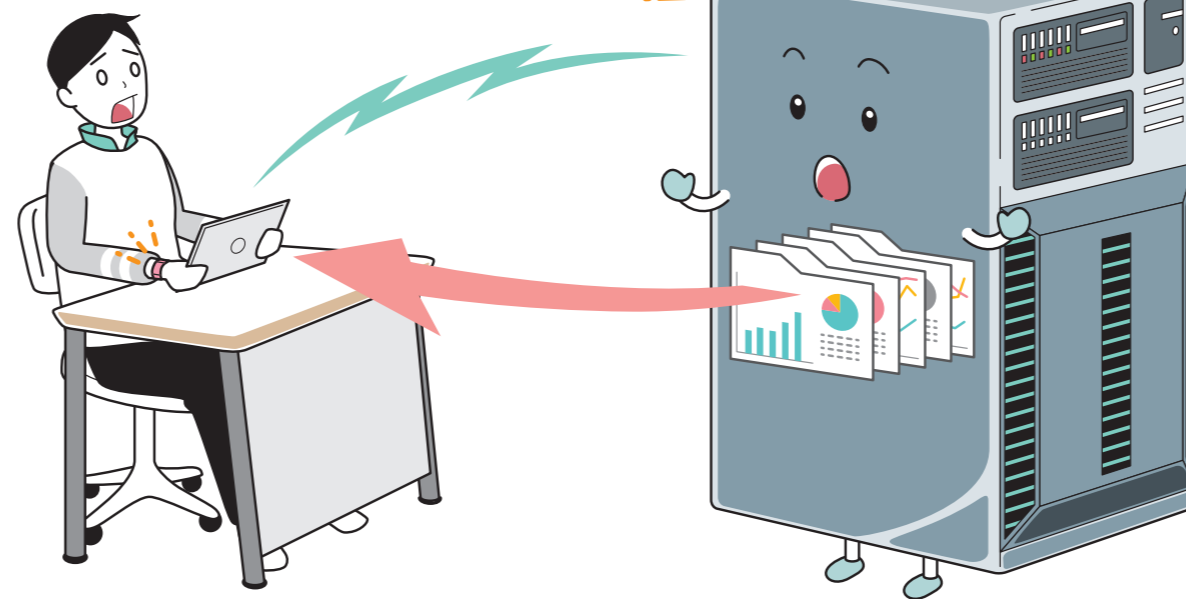
Webで動画を公開中!

NIT トレインラボ で検索 🔍



近頃は多くの人がタブレットやスマートフォンを用いるようになった。また、スマートウォッチのようなウェアラブルデバイスを使う人も増えている。これらに搭載されたセンサーが捉えるデータが表すものは、利用者の今の様子だ。動いているのか、じっとしているのか、集中しているのかどうか、理解しているのかどうか。刻々と変わるデータを活かして、それぞれに最適な作業環境を支援できないかと考えている。私たちが常に発している情報を集めると、それは大きな価値となる。これから来る新たな日常を支えてくれるのだろう。

勝間田 仁 (先進工学部 情報メディア工学科 教授)



TRAIN LABO NO. 30

先進工学部 情報メディア工学科
ネットワーク情報システム研究室

どんな場面でも、最適な環境で 作業ができる? スマートデバイスを 活用して、未来の学習環境を創る

ここ1年ほどの間で、大きく変わってしまったもの。「仕事や勉強のスタイル」も、その一つなのではないだろうか。職場や学校から離れて「リモート」で行う姿は、徐々に当たり前になりつつある。

しかし、周りに人がいない状況では、集中できないという人も少なくない。環境によっては、音が聞こえづらかったり、動画が見にくかったりもする。助けを呼びたくても、呼べない環境で作業をしているときだってある。

そんなとき、もしも自分の状況をつぶさに理解してくれる相棒がいれば……。そこで私が研究しているのが、スマートデバイスによる学習サポートシステムだ。

近頃は多くの人がタブレットやスマートフォンを用いるようになった。また、スマートウォッチのようなウェアラブルデバイスを使う人も増えている。

これらに搭載されたセンサーが捉えるデータが表すものは、利用者の今の様子だ。

動いているのか、じっとしているのか、集中しているのかどうか、理解しているのかどうか。刻々と変わるデータを活かして、それぞれに最適な作業環境を支援できないかと考えている。

私たちが常に発している情報を集めると、それは大きな価値となる。これから来る新たな日常を支えてくれるのだろう。

車内の携帯電話のご利用マナーにご協力ください。